

禁煙科学

Vol. 19 (05), 2025. 05



今月号の目次

【調査研究】

わが国の中学生による成人喫煙率の過大評価とその関連要因について

加治 正行 1

【連載】

禁煙科学 最近のエビデンス (2025年5月 KKE348)

KKE348 「妊婦の禁煙治療薬使用は先天異常を増やさない：4か国データーのメタ解析」

舘野 博喜 7

【連載】

週刊タバコの正体 (2025年5月 No. 822-825)

奥田 恭久 11

【調査研究】

わが国の中学生による成人喫煙率の
過大評価とその関連要因について加治 正行¹⁾ 菅原 照¹⁾

要 旨

目 的：

近年わが国の中高生の喫煙経験率は著明に低下し、高校3年生では男女とも数%になっているが、それに比べて20歳代の喫煙率はかなり高いことから、高校卒業後に喫煙を開始する者が多いと考えられる。その要因の一つとして、生徒たちが「大人の多くが喫煙している」と錯覚していることが背景にある可能性が考えられる。そこで、わが国の中学生が大人の喫煙率をどの程度と推測しているのか、アンケート調査によって検討した。

方 法：

著者が中学校で喫煙防止授業を実施した際にアンケート調査を行い、家族の喫煙状況、生徒の受動喫煙の有無、生徒自身が将来喫煙すると思うか否か等とともに、「おとなの何%くらいの方がタバコを吸っていると思うか」を質問して回答を解析した。

結 果：

中学1年生323名、2年生1035名、3年生171名から回答を得た。喫煙者がいる家庭は全体の39.7%で、喫煙する父親がいる生徒は31.1%、喫煙する母親がいる生徒は12.1%であった。成人喫煙率の推測値の平均は、男子生徒では男性54.0%、女性36.6%、女子生徒では男性58.9%、女性40.9%と、男性、女性ともに女子生徒のほうが有意に高かった。また、喫煙者がいる家庭の生徒の推測値は、いない家庭の生徒の推測値よりも有意に高かった。

結 論：

わが国の成人喫煙率は、最新の調査で男性が25.6%、女性が6.9%と報告されているが、中学生が推測する成人喫煙率は実態からかけ離れた高値であった。また、男子生徒よりも女子生徒による推測値のほうが高値であった。

キーワード：成人喫煙率、アンケート調査、喫煙防止教育

緒 言

わが国の中学生、高校生の喫煙実態については、1996年以来経年的に調査が実施されてきたが、それによると

1996年には喫煙経験率（一度でも喫煙したことがある者の割合）が中学1年生の男子で29.9%、女子で16.7%、高校3年生の男子で55.6%、女子で38.5%（いずれも紙巻きタバコのみの数値）であったのに対し¹⁾、最新の調査が実施された2021年には中学1年生の男子で紙巻きタバコが

1) 静岡社会健康医学大学院大学

責任者連絡先：加治正行
(〒420-0881) 静岡市葵区北安東4-27-2
静岡社会健康医学大学院大学
Tel: 054-295-5419 Fax: 054-248-3520
E-mail: mkaji@s-sph.ac.jp

2.1%、加熱式タバコが0.5%、女子で紙巻きタバコが0.7%、加熱式タバコが0.4%、高校3年生の男子で紙巻きタバコが3.9%、加熱式タバコが2.1%、女子で紙巻きタバコが1.9%、加熱式タバコが1.2%と、いずれもこの四半世紀の間に著明に減少した²⁾。

ところが厚生労働省の令和5年国民健康・栄養調査によれば、2023年の20歳代の喫煙率は男性が20.6%、女性が5.2%であり、高校3年生時の喫煙率に比べて顕著な増加がみられている³⁾。このことは高校を卒業してから数年の間に喫煙を開始する者が多いことを示しており、わが国の学校での喫煙防止教育の効果が問われる事態とも言えよう。

多くの若者が高校卒業後に喫煙を始める要因として、著者らは、子どもたちの多くが幼い頃から日常的に大人が喫煙する姿を目にしているため、喫煙を大人の自然な行為と感じ、「大人の多くが喫煙している」と錯覚していることが背景にあるのではないかと考えた。このような錯誤は、たとえ喫煙防止教育を受けてタバコの有害性を認識していたとしても、子どもたち自身が心理的抵抗なく喫煙を開始することにつながると考えられる。

そこで今回、わが国ではどのくらいの大人が喫煙していると中学生が想像しているのかについて、アンケート調査によって検討した。同時に家族の喫煙状況、家庭内での中学生の受動喫煙の実態についても調査を行った。

方 法

1. 対象者と調査方法

静岡市では市健康づくり推進課が市内の中学校向けに外部講師による喫煙防止授業を推奨しており、希望する中学校へ講師（市からの委託を受けた医師、保健師、看護師、元学校教諭など）を派遣している。

このたび講師派遣の依頼を受けて著者らが2023年11月から2024年11月にかけて喫煙防止授業に出向いた静岡市内の公立中学校9校の生徒1,791人を対象にアンケート調査を実施した。アンケートは喫煙防止授業の前日までに各学校で実施してもらい、著者が喫煙防止授業当日に受け取って持ち帰り、集計した。

2. 調査内容

アンケートでは、「日本では、おとなの何%くらいの

これはタバコについての皆さんの考えなどを聞くアンケートです。
答えたくない質問には答えなくてもかまいませんので、ご協力をお願いします。

★あなたは何年生ですか？ () 年生
★性別は？ [男子 ・ 女子]

問1. 日本では、おとなの何パーセントくらいの方がタバコを吸っていると思いますか？ 近いと思う数字に○をつけてください。
・おとなの男性では、
[10・20・30・40・50・60・70・80・90]パーセント
・おとなの女性では、
[10・20・30・40・50・60・70・80・90]パーセント

問2. あなたの家では、火をつけないタバコ（電子タバコ・アイコスなど）を吸う人がいますか？（同じ家に住んでいる家族についての質問です）
1) だれもない
2) いる → それはだれですか？（番号に○をつけてください。複数回答可）
1. お父さん 2. お母さん 3. おじいさん 4. おばあさん
5. お兄さん 6. お姉さん 7. その他の人 ()]

問3. あなたの家では、ふつうの（火をつける）タバコを吸う人がいますか？（同じ家に住んでいる家族についての質問です）
1) だれもない
2) いる → それはだれですか？（番号に○をつけてください。複数回答可）
1. お父さん 2. お母さん 3. おじいさん 4. おばあさん
5. お兄さん 6. お姉さん 7. その他の人 ()]

問4. あなたは、家の中でタバコのけむりを吸ってしまうことがありますか？
1) ほとんど毎日ある
2) 1週間に何回かある
3) 1カ月に何回かある
4) ない・ほとんどない

図1. アンケート調査票

人がタバコを吸っていると思いますか？」と質問し、男性、女性についてそれぞれ10%きざみの数字の中から選択してもらった。

家族の喫煙状況については、「火をつけないタバコ（電子タバコ・アイコスなど）」（新型タバコ）と「ふつうの（火をつける）タバコ」（紙巻きタバコ）に分けて質問した。また、生徒自身の家庭内での受動喫煙の実態について、家の中でタバコの煙を吸ってしまうことがあるか否かを、「ほとんど毎日ある」「1週間に何回かある」「1ヵ月に何回かある」「ない・ほとんどない」の4つの選択肢の中から選んでもらった（図1）。

3. 解析方法

統計学的検討にはMicrosoft Excelの「分析ツール」を使用し、2群間の有意差についてStudent's t testにより検討を行った。有意水準は5%未満とした。

4. 倫理的配慮

本研究は静岡社会健康医学大学院大学倫理審査委員会の承認を得て実施した（2023年9月22日承認・承認番号SGUPH_2023_004）。

アンケート調査に先立って保護者の承諾を得るため、調査の内容や目的、個人が特定されることはないこと、調査への協力は任意であることなどを文書あるいはSNS等を通じて学校から保護者へ事前に通知してもらった上で生徒へのアンケートを実施した。研究への参加についてはアンケート用紙の提出をもって同意を得たものとした。

結果

中学1年生は3校で323人（男子176人、女子146人、性別無回答1人）、2年生は6校で1035人（男子534人、女子492人、性別無回答9人）、3年生は1校で171人（男子88人、女子81人、性別無回答2人）の合計1,529人から回答を得た（回収率85.4%）。

回収した調査票は全て解析の対象としたが、一部の質問項目が無回答の調査票については、回答された項目のみを解析対象とし、無回答の項目については解析対象とせず算入しなかった。そのため、質問項目ごとに回答数が異なることとなり、有効回答率は83.5%から84.4%であった。

家庭内の喫煙者の有無について回答した1,510人のう

ち、「喫煙者がいない」と回答した者は911人（60.3%）、「喫煙者がいる」と回答した者は599人（39.7%）で、喫煙しているタバコの種類別にみると、「家族が紙巻きタバコのみを吸っている」という回答が153人（全家庭のうち10.1%）、「家族が新型タバコのみを吸っている」という回答が286人（同18.9%）、「家族が紙巻きタバコ、新型タバコの両方を吸っている（同一人が両方を吸っている場合と、複数の家族がそれぞれ別の種類のタバコを吸っている場合を含む）」という回答が160人（同10.6%）であった。

父親の喫煙については、「紙巻きタバコのみを吸っている」という回答が124人（喫煙率8.2%）、「新型タバコのみを吸っている」が268人（同17.7%）、「両方のタバコを吸っている」が77人（同5.1%）で合計469人（同31.1%）であった。母親の喫煙については、「紙巻きタバコのみを吸っている」という回答が52人（喫煙率3.4%）、「新型タバコのみを吸っている」が110人（同7.3%）、「両方のタバコを吸っている」が20人（同1.3%）で合計182人（同12.1%）であった。

生徒の家庭内での受動喫煙に関して回答した1,512人のうち、「ほとんど毎日ある」という回答は123人（8.1%）、「1週間に何回かある」は128人（8.5%）、「1ヵ月に何回かある」は108人（7.1%）、「ない・ほとんどない」は1,153人（76.3%）であった。一方、喫煙者がいる家庭の生徒を対象に集計したところ、回答した592人のうち、「ほとんど毎日ある」という回答が121人（20.4%）、「1週間に何回かある」が118人（19.9%）、「1ヵ月に何回かある」が95人（16.0%）、「ない・ほとんどない」が258人（43.6%）であった（図2）。

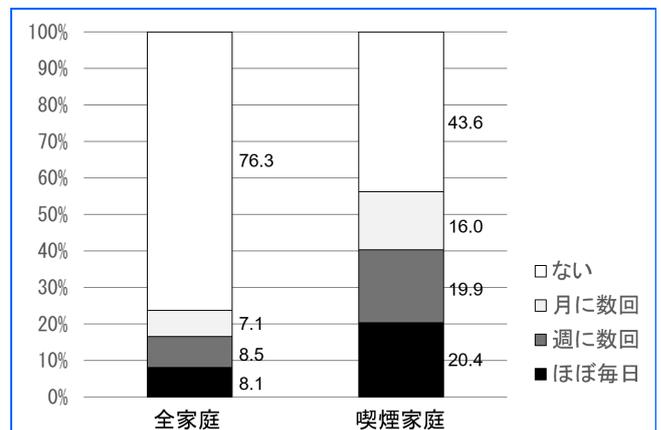


図2. 中学生の自宅での受動喫煙の頻度

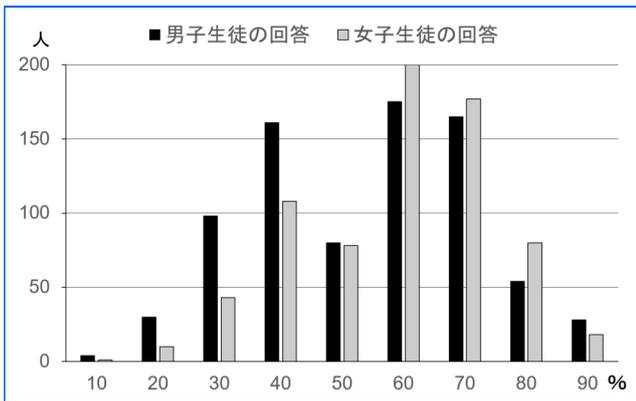


図3 A. 大人の喫煙率推測値の分布 (男性喫煙率)

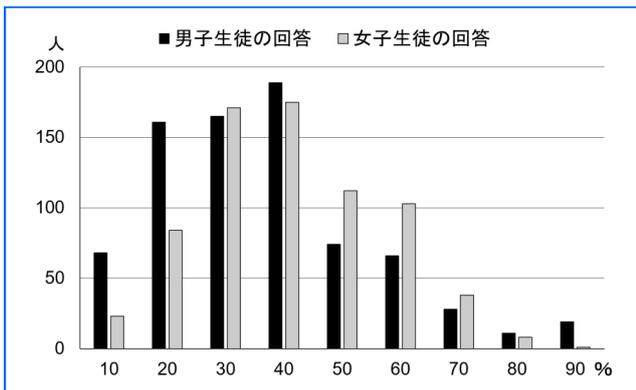


図3 B. 大人の喫煙率推測値の分布 (女性喫煙率)

「日本では、おとなの何%くらいの方がタバコを吸っていると思いますか?」という質問への回答を集計したところ、男子生徒、女子生徒ともに最頻値は男性が60%、女性が40%であった(図3A・B)。そして、それぞれの推測平均値は、男性の喫煙率については男子生徒で54.0%、女子生徒で58.9%と有意差が見られた($p < 0.001$)。女性の喫煙率についても男子生徒で36.6%、女子生徒で40.9%と有意差が見られた($p < 0.001$)。

喫煙者がいる家庭(喫煙家庭)の生徒と喫煙者がいない家庭(非喫煙家庭)の生徒とに分けて比較したところ、男子生徒でも女子生徒でも喫煙家庭の生徒の推測値のほうが男性、女性とも有意に高値であった(表1)。

考 察

現在のわが国の成人喫煙率は、男性が25.6%、女性が6.9%と報告されており³⁾、今回のアンケートの選択肢の中では男性が30%、女性が10%という数字が最も近いものであるが、中学生が抱いている平均的イメージは、男性が約60%、女性が約40%と非常に高い値であった(図

3A・B)。

一般に青少年期は同世代や成人の喫煙率を過大に評価する傾向があると記載された文献はあるが⁴⁾⁵⁾、実際に子どもたちが推測する成人喫煙率の数値に関する報告は見当たらない。

子どもたちが推測する成人喫煙率が実態からかけ離れた高値となる要因としては、タバコが常に身近に存在する環境(自動販売機やコンビニエンスストアなど)や、子どもたちが幼い頃から日常的に喫煙する大人の姿を目にしているために大人の喫煙をごく普通の光景と認識しやすいことなどが考えられる。この点については、非喫煙家庭の生徒に比べて喫煙家庭の生徒で男子、女子ともに推測値が有意に高かったことから裏付けられよう(表1)。また、成人男性の喫煙率に比べて成人女性の喫煙率のほうが、中学生の推測値と実態との乖離が大きかったが、これは実生活の場だけでなく、テレビドラマや映画などでの女性の喫煙シーンが大きな影響を与えている可能性も考えられる。実際に海外での研究で、映画の喫煙シーンを多く見た子どもほど喫煙を開始する率が高かったとの報告があり^{6)~8)}、スクリーン上での有名人の喫煙シーンは、子どもたち自身の喫煙を誘発する作用を有する⁹⁾くらいに、成人の喫煙モデルとして子どもたちの脳裏に深く刻み込まれるものと思われ、成人喫煙率の過大な推測につながっていると考えられる。さらに、今回の調査では、男子生徒に比べて女子生徒のほうが男性喫煙率推測値、女性喫煙率推測値ともに有意に高かった。海外での研究で、スクリーン上の喫煙シーンが未成年者の喫煙開始を誘発する影響力は、男子に比べて女子のほうが大きいことが示されており⁷⁾¹⁰⁾、わが国でも女子生徒のほうがスクリーン上のファッションなどへの関心の強さとともに喫煙シーンの影響も受けやすい可能性が考えられる。

生徒たちが大人の喫煙に関して抱いているこのようなイメージ(「大人の多くが喫煙している」という錯誤)

表1. 生徒が推測している大人の喫煙率 (家庭内の喫煙者の有無による差)

	男子生徒		女子生徒	
	男性喫煙率 推測値	女性喫煙率 推測値	男性喫煙率 推測値	女性喫煙率 推測値
喫煙家庭	58.9% (n=315)	40.8% (n=312)	63.6% (n=275)	43.8% (n=274)
非喫煙家庭	50.4% (n=467)	33.7% (n=456)	55.9% (n=437)	39.0% (n=438)
	$p < 0.001$	$p < 0.001$	$p < 0.001$	$p < 0.001$

は、生徒自身の将来の喫煙開始への心理的抵抗を弱める可能性が高い。したがって、喫煙防止教育の中で生徒たちにわが国の成人喫煙率を正しく伝え、「喫煙する大人はごく少数である」と強調することも、生徒たちの将来の喫煙を防ぐために重要なことと考えられる。

また、家庭内での受動喫煙について、喫煙家庭の生徒では「ほとんど毎日ある」「1週間に何回かある」「1ヵ月に何回かある」という回答の合計が半数を超えていることは深刻な問題で、喫煙防止教育を通じて生徒に受動喫煙の危険性を理解してもらい、それを家族に伝えてもらうことも重要であると考えられる。

結 語

わが国の中学生が想像している成人の喫煙率は男性が約60%、女性が約40%と、いずれも実態からかけ離れた高値であった。この要因としては、タバコが常に身近に存在する環境や、子どもたちが幼い頃から日常的に喫煙する大人の姿を目にしていること、またテレビドラマや映画などでの喫煙シーンの影響などが考えられる。生徒たちが大人の喫煙に関して抱いているこのようなイメージは、生徒自身の将来の喫煙の誘因になる可能性があると考えられ、それを防ぐために生徒たちに大人の喫煙率を正しく伝えることが重要であると考えられる。

アンケート調査にご協力くださいました中学校の生徒さんたち、担任教諭、養護教諭の先生方に感謝申し上げます。また、本研究の倫理審査及び英文要旨作成に当たり貴重なご助言を賜りました静岡社会健康医学大学院大学講師・八田太一先生、並びに英文要旨作成に当たり懇切丁寧にご指導くださいました静岡県立大学薬学部准教授・Philip Hawke先生に深謝申し上げます。

本研究で開示すべき利益相反 (COI) 状態はない。

文 献

- 1) 尾崎米厚、蓑輪眞澄、鈴木健二、他. 1996年度未成年者の喫煙行動に関する全国調査. 厚生指標 1999;46:16-22.
- 2) 金城文、尾崎米厚、桑原祐樹、他. 令和3年度厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活

習慣病対策総合研究事業) 2021 年中高生の喫煙、飲酒等生活習慣に関する全国調査
https://mhlw-grants.niph.go.jp/system/files/report_pdf/202109019A-buntan1_0_1.pdf (2025年5月16日アクセス可能)

- 3) 厚生労働省令和5年国民健康・栄養調査結果の概要
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001338334.pdf> (2025年5月16日アクセス可能)
- 4) Koplan JP, Marks JS, Eriksen MP, et al. Effective educational strategies to prevent tobacco use among young people. Edited by Rothenberg RB, Pechaeck TF, Chaloupka FJ, et al. Reducing Tobacco Use: A Report of the Surgeon General. Atlanta, Georgia: U. S. Department of Health and Human Services, Centers for Disease Control and Prevention, National Center for Chronic Disease Prevention and Health Promotion, Office on Smoking and Health. 2000;61-94.
- 5) 国立がん研究センター. ジェンダー、女性とたばこの流行
https://www.ncc.go.jp/jp/cis/divisions/tobacco_policy/project/genderandtobacco/WHO_gender.pdf (2025年5月16日アクセス可能)
- 6) Dalton MA, Sargent JD, Beach ML, et al. Effect of viewing smoking in movies on adolescent smoking initiation: a cohort study. *Lancet* 2003;362:281-285.
- 7) Charlesworth A, Glantz SA. Smoking in the movies increases adolescent smoking: A review. *Pediatrics* 2005;116:1516-1528.
- 8) Morgenstern M, Sargent JD, Engels RCME et al. Smoking in movies and adolescent smoking initiation: longitudinal study in six European countries. *Am J Prev Med* 2013;44:339-344.
- 9) Sargent JD. Smoking in movies: Impact on adolescent smoking. *Adolesc Med* 2005;16:345-370.
- 10) Distefan JM, Pierce JP, Gilpin EA. Do favorite movie stars influence adolescent smoking initiation? *Am J Public Health* 2004;94:1239-1244.

Adolescents greatly overestimate the rate of adult smoking in Japan: A cross-sectional survey of junior high school students

Masayuki Kaji* and Akira Sugawara*

*Shizuoka Graduate University of Public Health

Objectives

In recent years, the prevalence of smoking initiation among junior and senior high school students in Japan has dropped significantly, to only a few percent of both males and females. However, the smoking rate among people in their 20s remains significantly higher, at 20.6% in men and 5.2% in women, suggesting that many people start smoking after high school graduation. The misperception that “most adults smoke” could therefore weaken the effects of school-based smoking prevention education. This study quantified junior high school students’ estimates of adult smoking prevalence and examined whether those estimates vary according to household smoking exposure.

Methods

From November 2023 to November 2024, a self-administered questionnaire was completed in nine public junior high schools in Shizuoka City immediately before smoking prevention classes. Students indicated, in 10% increments, what proportion of Japanese adult men and women they believed smoked. Household smoking status, parental smoking, and in-home second hand-smoke exposure were also recorded. Mean estimates were compared with unpaired t-tests ($\alpha = 0.05$).

Results

Of 1,791 eligible students, 1,529 (85.4 %) provided responses (male = 798, female = 721, missing = 10). Overall, 39.7 % lived with at least one smoker. Male students estimated that 54.0 % of adult men and 36.6 % of adult women smoke, and female students estimated 58.9 % and 40.9 %, respectively. Both sex differences were significant ($p < 0.001$). Students from households with smokers consistently provided higher estimates than those from households without smokers ($p < 0.01$ for both sexes).

Conclusions

National surveillance data show that 25.6 % of adult men and 6.9 % of adult women in Japan currently smoke; however, our results indicate that junior high school students greatly overestimate the prevalence of adult smoking, with those in our study placing it at more than twice the actual rate. School-based smoking prevention classes should incorporate accurate prevalence data and address household smoking to help correct these normative misperceptions and prevent post-graduation uptake.

Key words: adult smoking rates, questionnaire survey, smoking prevention education

禁煙科学 最近のエビデンス 2025/05

さいたま市立病院館野博喜
Email:Hrk06tateno@aol.com

本シリーズでは、最近の禁煙科学に関する医学情報を要約して紹介しています。医学論文や学会発表等から有用と思われたものを、あくまで私的ではありますが選別し、医療専門職以外の方々にも読みやすい形で提供することを目的としています。より詳細な内容につきましては、併記の原著等をご参照ください。

目次

KKE348 「妊婦の禁煙治療薬使用は先天異常を増やさない：4か国データのメタ解析」

KKE348

「妊婦の禁煙治療薬使用は先天異常を増やさない：

4か国データのメタ解析」

Duong T Tran等、JAMA Intern Med. 2025 Jun 1;185(6):656-667. PMID: 40163085

<https://jamanetwork.com/journals/jamainternalmedicine/fullarticle/2831910>

- 喫煙は先天異常など様々な妊娠問題を引き起こす。
- ニコチン置換療法NRT、バレンクリン、ブプロピオンは禁煙に有効だが、胎児への安全性のデータは限られている。
- 過去の報告は、先天異常を評価するには症例数が少なく、母体喫煙の影響も考慮されていない。
- そこで今回、4か国に渡る大規模なコホート研究を行った。
- 豪州ニューサウスウェールズ、ニュージーランド、ノルウェイ、スウェーデンについて、共通のプロトコルを用いた後方視的コホート研究を行った。
- いずれの国でも生死産の記録が、薬の処方、入院、死亡率、専門医受診と照合された。
- 2006年から2019年の間に、3,035,489人の女性から出生した5,239,070子のデータをもとに、妊娠の90日前から妊娠第1期末までに禁煙治療薬を処方された事例と、妊娠第1期に喫煙していた妊婦の事例を抽出し、267,522人の女性から出生した391,474子を特定した。
- 多胎出産、死産、染色体異常、生殖症候群、催奇形性感染症、催奇形性薬剤の投与歴、2剤以上の禁煙治療薬処方、などに該当する50,193事例は除外した。
- ノルウェイとスウェーデンではNRTは一般にOTCで入手されるため、NRTの解析からは除外した。
- またこの2か国ではブプロピオンは抗うつ薬としても処方されるため、ブプロピオンの解析からも除外した。
- 主要評価項目は、主要な先天異常全体および以下の亜集団とした：心臓、四肢、口腔顔面裂、生殖器、腎および尿路、消化器、呼吸器、神経、腹壁、眼、耳、その他。
- 副次評価項目は、出生1万人に10人以上見られる、それら器官の先天異常とした。
- 共変量として妊娠した年、子の性別、母親の社会指標（年齢、婚姻状況、学歴、居住地の遠隔性や貧困度など）、分娩回数、母親のBMI、先天奇形の出産歴などを用いた。
- 母親の併存症も医療記録から収集した：精神疾患、NSAIDs使用、ステロイド使用、貧血、飲酒や他の薬物依存、甲状腺疾患、糖尿病、てんかん、慢性腎疾患、など。
- 基礎情報を均等化して傾向スコアマッチングを行い、禁煙治療薬使用の有無で2群の乳児を比較した。出生1,000例あたりの主要な先天異常有病率を算出し、相対危険度RRを単変量条件付きポアソン回帰モデルで推

定した。

→各国が推定する薬剤と先天異常リスクとの間に、1つの真の関連があると仮定し、固定効果メタ解析を行った。

→ベンジャミン・ホホバーク法を用いて多重統計比較を調整した。

→感度分析として、1) 妊娠第1期の喫煙歴を自己申告していた事例に限定、2) 2回以上薬を処方され1回は妊娠後の処方である内服の蓋然性の高い事例に限定、3) 先天異常により流産や中絶に至ることを仮定した補正、4) 未知の交絡因子による関連の最小値であるE値の算出、の4つを行った。

→除外後の傾向スコアマッチングにより、135,284の母子ペアが得られ、9,325子がNRTに、3,031子がバレニクリンに、1,042子がブプロピオンに、妊娠第1期に曝露されていた。

→NRTの解析対象となったニュージーランドの乳児は、母親の年齢や精神疾患などに対照群との間でばらつきがあり、回帰モデルに補正を行った。

→主要な先天異常の有病率は、NRTの使用の有無で差がなかった（使用有り：37.6/1,000、無し：34.4/1,000、補正RR 1.10；95%CI, 0.98-1.22）。

→器官ごとの先天異常の比較では、使用あり群で消化器系の異常が多かったが、多重比較を補正すると有意差は消失した。

→ニコチンパッチと速効製剤（ガム、トローチ）で分けて解析しても差がなかった。

→バレニクリンの使用の有無でも差はなかった（有り32.7/1,000 vs 無し36.6/1,000、補正RR 0.90；0.73-1.10）。

→器官ごとの先天異常の比較では、使用あり群で腎・尿路系の異常が多かったが、多重比較を補正すると有意差は消失した。

→ブプロピオンの使用の有無でも差はなかった（有り35.5/1,000 vs 無し38.8/1,000、補正RR 0.93；0.67-1.29）。

→器官ごとの先天異常の比較では、例数は少ないながら有意差は見られなかった。

→感度分析1)でも結果は不変だった。

→感度分析2)でも同様だったが、NRT関連の眼先天異常（補正RR 3.33；1.10-10.02、症例数：使用有り4子、無し12子）と、バレニクリン関連の腎・尿路先天異常（補正RR 7.19；2.38-21.79、症例数：使用有り5子、無し7子）が使用有りが多かった。

→感度分析3)では、先天異常児妊娠の場合に、薬の使用無しで50%以上、使用有りで70%以上が流産か中絶に至るとする極端な仮定では、補正RRが各薬剤とも+0.23から+0.28ほど上昇した。

→感度分析4)では、各薬剤と先天異常の関連が未知の交絡因子の影響だとすると、その最小RRは解析で得た補正RRよりずっと高くなった。

→妊娠初期における禁煙治療薬3種の使用と先天異常に関連は見られない。

<選者コメント>

妊婦への禁煙補助薬投与については、KKE301で効果についての比較をご紹介しましたが、今回の報告は同じ著者等による安全性の報告です。

対象が4か国に拡大され、さらに一桁も大規模な調査になりました。結果からは、妊娠初期にNRT、バレニクリン、ブプロピオンのいずれの治療を受けた場合にも、喫煙と比較して、子の主要な先天異常は増えていませんでした。RCT等による介入試験で検証できない問題ですが、規模と精緻な解析で、エビデンスの高い報告となっています。

本邦では、ニコチンパッチは妊婦・授乳婦には禁忌とされ、バレニクリンは有益性投与となっていますが、

十分な説明により同意を得られれば、とくにバレニクリンの処方では考慮に値することの後ろ盾になるデーター
と思います。

あとはバレニクリンの再開ですが、見込まれていた2025年上半期も間もなく過ぎそうな今日此頃、お報せは
いつ来るのでしょうか…?^^;

<その他の最近の報告>

- KKE348a 「放射線技師の肺癌発症は男性に多く喫煙量1日16本までは被曝量に依存した：米国1.1万人の解析」
Cato M Milder等、J Natl Cancer Inst. 2025 Mar 20:djaf064. PMID: 40112244
- KKE348b 「電子タバコは紙巻喫煙があってもなくてもCOPDリスクを高める：メタ解析」
Ajay Malvi等、Respir Med. 2025 May:241:108059. PMID: 40157397
- KKE348c 「水タバコの健康影響についてのメタ解析」
Mahdi Sepidarkish等、Syst Rev. 2025 Mar 31;14(1):74. PMID: 40165261
- KKE348d 「ニコチンワクチンについてのレビュー」
Kun Yan等、Vaccine. 2025 May 10:55:127036. PMID: 40127570
- KKE348e 「喫煙が薬物代謝と薬効に与える影響についての系統的レビュー」
Stefano Zanni等、Eur J Clin Pharmacol. 2025 May;81(5):667-695. PMID: 40111454
- KKE348f 「受動喫煙女性の母乳に含まれる化学物質についての系統的レビュー」
Nazila Moftian等、Biol Trace Elem Res. 2025 Mar 28. PMID: 40153149
- KKE348g 「喫煙の遺伝子素因はメタボのリスクと関連する：台湾バイオバンクによるメンデルランダム化解析」
Cheng-Chieh Lin等、BMC Endocr Disord. 2025 Mar 28:25(1):87. PMID: 40155847
- KKE348h 「喫煙が半月板手術に与える影響についての系統的レビュー」
Jan Zabrzynski等、EFORT Open Rev. 2025 Apr 1;10(4):193-202. PMID: 40167455
- KKE348i 「受動喫煙と電子タバコ喫煙が脳機能に与える影響についてのレビュー」
Glen Kisby等、Front Pharmacol. 2025 Mar 6:16:1466332. PMID: 40115268
- KKE348j 「電子タバコ関連気胸の症例報告16例の系統的レビュー」
Moneeb Al-Taj等、Medicina (Kaunas). 2025 Mar 19;61(3):537. PMID: 40142348
- KKE348k 「術前禁煙介入で禁煙率は高まったが手術当日の禁煙偽報告は介入群で高かった：豪州」
Sara B Urquhart等、Anaesth Intensive Care. 2025 Mar 27. PMID: 40148133
- KKE348l 「喫煙と便秘に関連は見られず：米国成人1.1万人の横断解析」
Guoce Cui等、Front Public Health. 2025 Mar 4:13:1502341. PMID: 40109432
- KKE348m 「乳房温存療法後のIMRT放治の慢性毒性は喫煙者で多い：後方視的研究」
Ana A Díaz-Gavela等、Radiat Oncol. 2025 Mar 27;20(1):45. PMID: 40148972
- KKE348n 「喫煙は歯周炎を介して高齢者の認知機能低下と関連する」
Xiaoqian Luan等、BMC Psychiatry. 2025 Mar 27;25(1):292. PMID: 40148790
- KKE348o 「喫煙による膀胱癌は今後も増えると予想される：世界疾病負荷研究からの解析」
Kai Qi等、Tob Induc Dis. 2025 Mar 28:23:10. PMID: 40161903
- KKE348p 「受動喫煙による肺癌の動向と今後の推移予想：世界疾病負荷研究からの解析」
Yulong Yu等、Tob Induc Dis. 2025 Mar 28:23. PMID: 40161905
- KKE348q 「日本の喫煙者のCOPDの知識は限定的：日本のコホート」
Yolanda De Fatima De Oliveira Graca等、Tob Induc Dis. 2025 Mar 28:23. PMID: 40161904

- KKE348r 「中国の喫煙による経済コストはGDPの2.3%に達しタバコ産業による財政的利益はその6割に過ぎない」
Rong Zheng等、Tob Control. 2025 Apr 16;tc-2024-059099. PMID: 40121021
- KKE348s 「中低所得国の違法タバコ取引は紙巻の14.4%無煙タバコの87%にのぼる」
S M Abdullah等、Nicotine Tob Res. 2025 Mar 22:ntaf070. PMID: 40123374
- KKE348t 「電子タバコをやめるとQOLや精神状態が良くなる：米国9百人2年コホート」
Hongying Daisy Dai等、Tob Control. 2025 Mar 27;tc-2024-059098. PMID: 40147929
- KKE348u 「電子タバコクリニックに肺合併症で紹介になった若者の46%にEVALIやその疑いが見られた：米国」
Eleanor D Muise等、Respirology. 2025 Mar 26. PMID: 40135485
- KKE348v 「加熱式タバコ煙はアクロレイン・アセトアルデヒドが減っていない：静岡県立大学」
Saria Hoshino等、Chem Res Toxicol. 2025 May 19;38(5):915-922. PMID: 40111923
- KKE348w 「曝露有害物質から推測する肺癌リスクは電子・加熱式タバコは紙巻より少ない」
Peter N Lee等、Harm Reduct J. 2025 Mar 30;22(1):45. PMID: 40159472
- KKE348x 「 α コノトキシンTxBIはニコチンによる脳内ドパミン上昇を抑制する（ネズミの実験）」
Weifeng Xu等、Mar Drugs. 2025 Mar 4;23(3):109. PMID: 40137295
- KKE348y 「長期のニコチン曝露は α 9ニコチン受容体とHER2の相互作用を減弱させHER2標的治療効果を低下させる（ネズミの実験）」
Yu-Hsuan Lin等、Ecotoxicol Environ Saf. 2025 Apr 1:294:118071. PMID: 40112628
- KKE348z 「タバコ煙に含まれるベンゼンには薬物依存関連効果が見られる（ネズミの実験）」
Andrew C Harris等、Drug Alcohol Depend. 2025 Jun 1:271:112633. PMID: 40117780
- KKE348aa 「慢性的ニコチン投与は内側前頭前皮質の増強を介して物体認識記憶を増強する（ネズミの実験）：日本」
Shoma Izumi等、Neuropharmacology. 2025 Aug 1:273:110435. PMID: 40154943

【週刊タバコの正体】

Vol.61 第3話～第6話

2025年05月

和歌山工業高校 奥田恭久

Volume 61 2025 Apr-Jul Serial number 822 第3話

週刊 タバコの正体

Q タバコを吸う目的としてもっとも当てはまるものを、1つだけ選んでください。

このグラフは、ある企業がタバコを吸う目的を調査した結果で、「タバコはストレス解消」のためと答えた人が過半数です。一般的にも、そう思っている人は多いと思いますが、じつはこれは大きな勘違いなのです。

前回紹介したとおり、喫煙者は体内のニコチンがきれてくると「タバコを吸いたい」というストレスを感じます。そして喫煙するとそのストレスから解放されるので、これを「ストレス解消」だと思ってしまうのです。

つまり、喫煙者は自分でストレスを作り出しているわけで、もともとタバコを吸い始めなければ感じる事がないストレスなのです。

タバコを吸い始めると、一生このストレスに付き合わされる事になるのを知っておいて下さい。

「タバコはストレス解消にはならない」
タバコはストレスを作り出します。

タバコは吸って1時間位すると、ニコチンの血中濃度が下がり、脳がニコチンを欲し始めます。ニコチン切れる時間が長くなるほど、ストレスを感じ、イライラしたり、落ち着きがなくなったりします。

タバコを吸わない人はニコチンが切れることはないのでもんな事は考えず日常を過ごすことが出来ます。

Zero Tobacco Project
in WAKO Since 2003

■Vol. 61

(No. 822) 第3話 ストレス解消？

ータバコを吸い始めなければ感じる事はない...

このグラフは、ある企業がタバコを吸う目的を調査した結果で、「タバコはストレス解消」のためと答えた人が過半数です。一般的にも、そう思っている人は多いと思いますが、じつはこれは大きな勘違いなのです。

前回紹介したとおり、喫煙者は体内のニコチンがきれてくると「タバコを吸いたい」というストレスを感じます。そして喫煙するとそのストレスから解放されるので、これを「ストレス解消」だと思ってしまうのです。

つまり、喫煙者は自分でストレスを作り出しているわけで、もともとタバコを吸い始めなければ感じる事がないストレスなのです。

タバコを吸い始めると、一生このストレスに付き合わされる事になるのを知っておいて下さい。

■Vol. 61

(No. 823) 第4話 吸える場所

ータバコを吸う場所に苦勞すること...

下のような掲示を目にした事はありませんか。タバコの有害性が広く社会に浸透している現代では、このような掲示をしている施設がたくさんあります。大勢の人が集まる施設はもちろんですが、一般企業の社屋や工場内においても終日禁煙のところが多く、少なくとも指定された喫煙場所以外ではタバコを吸えません。

そして、次の写真を見て下さい。入口の前に行列ができています。「入口」の隣の表示をよく見るとタバコのマークがありますよね。喫煙者たちはタバコを吸うために喫煙所に並ばなければならない事もよくあるようです。

さらに、現在開催中の大阪・関西万博においては、会場内に喫煙所がいっさいありません。唯一場外に設けられている喫煙所も東西にあるゲートの片方のみで、もう一方のゲートから1kmも離れているのです。

いかかですか、タバコを吸える場所は限られ、吸う場所を確保するのに労力がかかる事がわかってもらえたでしょうか。

ニコチン依存症になってしまうと、毎日ニコチン切れによるストレスに見舞われる上に、苦勞してタバコを吸わなければならない生活が待っています...

Volume 61 2025 Apr-Jul Serial number 823 第4話

週刊 タバコの正体

このような掲示が目にした事はありませんか。タバコの有害性が広く社会に浸透している現代では、このような掲示をしている施設がたくさんあります。大勢の人が集まる施設はもちろんですが、一般企業の社屋や工場内においても終日禁煙のところが多く、少なくとも指定された喫煙場所以外ではタバコを吸えません。

そして、次の写真を見て下さい。入口の前に行列ができています。「入口」の隣の表示をよく見るとタバコのマークがありますよね。喫煙者たちはタバコを吸うために喫煙所に並ばなければならない事もよくあるようです。

さらに、現在開催中の大阪・関西万博においては、会場内に喫煙所がいっさいありません。唯一場外に設けられている喫煙所も東西にあるゲートの片方のみで、もう一方のゲートから1kmも離れているのです。

いかがですか、タバコを吸える場所は限られ、吸う場所を確保するのに労力がかかる事がわかってもらえたでしょうか。

ニコチン依存症になってしまうと、毎日ニコチン切れによるストレスに見舞われる上に、苦勞してタバコを吸わなければならない生活が待っています...

Zero Tobacco Project
in WAKO Since 2003

Volume 61 2025 Serial number 824 第5話
週刊 タバコの正体

現代社会ではタバコを吸える場所は限られています。そして、その場所ではタバコを吸うために時間が過ぎていきます。その時間はたった数分かも知れませんが、例えば毎日10回程度吸う喫煙者の場合、タバコを吸うために24時間のうち1時間前後を費やしているのです。そんな日々が20年続いたとすると、トータルで8.5ヶ月もタバコを吸っている計算になります。

さらに、毎日何本も吸うためにはタバコを買い続けなければなりません。ほとんどのタバコは1箱20本入りです。例えば、2日で1箱(約500円)のペースで買い続けると1年で約9万円、20年だと182万円を越えてしまうでしょう。

こんなに時間とお金がかかる事を意識してタバコを吸い始めた人はいないでしょうが、皆さんはこの事を忘れないでください。

産業デザイン科 奥田 恭久

タバコを吸っている時間=約8.5カ月間

✓ 1本吸うのにかかる時間を5分とすると、1日で50分(10本)、1年で18,250分、20年で365,000分をタバコに費やしていることになります。



✓ 365,000分は約6,083時間、約253.5日となり、20年間のうち、タバコを吸っている時間は約8.5カ月間となります。

✓ 8.5カ月間は、ちょっとした趣味が上達したり、資格が取れたり、人生が豊かになるために十分な時間です。

タバコに使うお金=182万5,000円

✓ 2日で1箱500円とすると、1年で9万1,250円、20年で182万5,000円をタバコに費やしていることになります。



✓ 182万5,000円は、大きな買い物や豪華な旅行など、ライフイベントの選択肢を広げるために十分な金額です。

✓ 20年前に比べてタバコの値段は約2倍になりました。今後も値上げされれば、上記の金額よりもっとかかることになります。



産業デザイン科 奥田 恭久

■Vol. 61
(No. 824) 第5話 時間とお金

一吸い始めた時には想像できない数字に...

現代社会ではタバコを吸える場所は限られています。そして、その場所ではタバコを吸うために時間が過ぎていきます。その時間はたった数分かも知れませんが、例えば毎日10回程度吸う喫煙者の場合、タバコを吸うために24時間のうち1時間前後を費やしているのです。そんな日々が20年続いたとするとトータルで8.5ヶ月もタバコを吸っている計算になります。

さらに、毎日何本も吸うためにはタバコを買い続けなければなりません。ほとんどのタバコは1箱20本入りです。例えば、2日で1箱(約500円)のペースで買い続けると1年で約9万円、20年だと182万円を越えてしまうでしょう。

こんなに時間とお金がかかる事を意識してタバコを吸い始めた人はいないでしょうが、皆さんはこの事を忘れずタバコには手を出さないようにして下さい。

■Vol. 61
(No. 825) 第6話 ありえへん

一タバコの有害物質を目にすると...

タバコの煙には4000種類以上の化学物質が含まれています。左図にあるように、そのうち250種類以上が有害物質です。

殺虫剤や消毒に使われるものや、毒物に指定されているものまで含まれています。そもそも、タバコをやめられなくなるニコチン依存症の元であるニコチンはゴキブリ駆除剤として使われる毒物に分類される物質なのです。

さらに、左側の表にあるように何種類もの発がん物質が含まれているので、喫煙者のがん発症確率は、平均以上に高くなります。

もしタバコのパッケージに上のようなイメージ図と発がん物質が含まれている注意書きがあったとしたら、買う人がいるでしょうか。それどころか「こんなものを販売してもいいのか」と思うぐらいですよ。

それなのに一旦ニコチン依存症になってしまうとニコチンを補給するために、ヒ素やダイオキシンやカドミウムなどが含まれる煙を毎日吸い込み続けるのです。客観的に見れば、「ありえへん」とでも表現したくなる状態だと思いませんか。

タバコに興味を持つ前に、タバコには有害物質がいっぱい含まれ...

Volume 61 2025 Serial number 825 第6話
週刊 タバコの正体

たばこの煙の中にはこのような有害物質が!



タバコの煙には4000種類以上の化学物質が含まれています。左図にあるように、そのうち250種類以上が有害物質です。

殺虫剤や消毒に使われるものや、毒物に指定されているものまで含まれています。そもそも、タバコをやめられなくなるニコチン依存症の元であるニコチンはゴキブリ駆除剤として使われる毒物に分類される物質なのです。さらに、左側の表にあるように何種類もの発がん物質が含まれているので、喫煙者のがん発症確率は、平均以上に高くなります。

発がん物質 (ng/本)	発がん物質 (ng/本)	成分名	身近な例
ベンゾ[a]ピレン	20-40	アセトン	ペンキ薄めし
ジメチルニトロソアミン	5.7-43	ヒ素	補脳剤
メチルニトロソプロピルアミン	0.4-5.9	フタール酸	ライター用燃料
ジエチルニトロソアミン	1.3-3.8	カドミウム	電池
N-ニトロソピロリジン	100-550	一酸化炭素	車の排気ガス
4-N-メチル-N-ニトロソアンチピリン	80-220	ホルムアルデヒド	防腐剤
ニトロプロピルアミン	5.1-22	シアン化水素	死用のガス
ベンゾ[a]ピレン	1700	メタノール	ロケット燃料
ヒドラジン	32	ニコチン	ゴキブリ駆除剤
2-アザフルアミン	1.7	フェノール	水洗便器消毒剤
トルエン	4.6		
ホルムアルデヒド	160		

YASUKO コーポレーション(イオン) 煙草(たばこ) 煙草(たばこ) 煙草(たばこ)

産業デザイン科 奥田 恭久

それなのに一旦ニコチン依存症になってしまうとニコチンを補給するために、ヒ素やダイオキシンやカドミウムなどが含まれる煙を毎日吸い込み続けるのです。客観的に見れば、「ありえへん」とでも表現したくなる状態だと思いませんか。

タバコに興味を持つ前に、タバコには有害物質がいっぱい含まれている事を理解しておけば、タバコは「ありえへん」と思えるはずです。

産業デザイン科 奥田 恭久



毎週火曜日発行



URL: https://www.jascs.jp/truth_of_tabacco/truth_of_tabacco_index.html

※週刊タバコの正体は日本禁煙科学会のHPでご覧下さい。
※一話ごとにpdfファイルで閲覧・ダウンロードが可能です。
※HPへのアクセスには右のQRコードが利用できます。



日本禁煙科学会HP

URL: <https://www.jascs.jp/>

※日本禁煙科学会ホームページのアドレスです。

※スマホ等でのアクセスは、右のQRコードをご利用下さい。



ふえる笑顔 禁煙ロゴ

筋肉の疾患で体の不自由な浦上秀樹さん（埼玉県在住）が、口に筆を取って書いてくださった書画です。「けんこうなしゃかい ふえるえがお」という文字を使って『禁煙』をかたどっています。

※拡大画像は日本禁煙科学会ホームページでご覧頂けます。

※スマホ等でのアクセスは、右のQRコードをご利用下さい。

URL : https://www.jascs.jp/gif/egao_logo_l.jpg



編集委員会

編集委員長 中山健夫

編集委員 野田隆 東山明子 高橋裕子

日本禁煙科学会

学会誌 禁煙科学 第19巻(05)

2025年(令和7年)5月発行

URL : <https://www.jascs.jp/>

事務局 : 〒630-8113 奈良県奈良市法蓮町 948-4

めぐみクリニック (未成年者禁煙支援センター) 内

E-mail : info@jascs.jp